令和4年4月9日(土) 品川区議会 文教委員会

オンライン議会報告会

『コロナ禍における子どもたちの心のケアについて』

# 本日の式次第

- 一、開会挨拶
- 二、6名の委員による報告
- 三、クイズコーナー
- 四、質疑・意見コーナー
- 五、閉会挨拶

## 区議会文教委員会(7名)



副委員長 (自)湯澤 一貴



委員長 (公)あくつ 広王



(公)つる 伸一郎



(ネ)吉田 ゆみこ



(共)安藤 たい作

(自)松澤 和昌

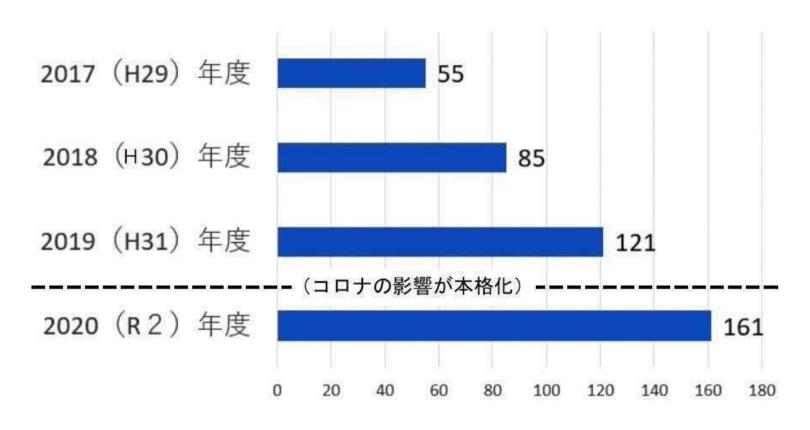


(無)松本ときひろ

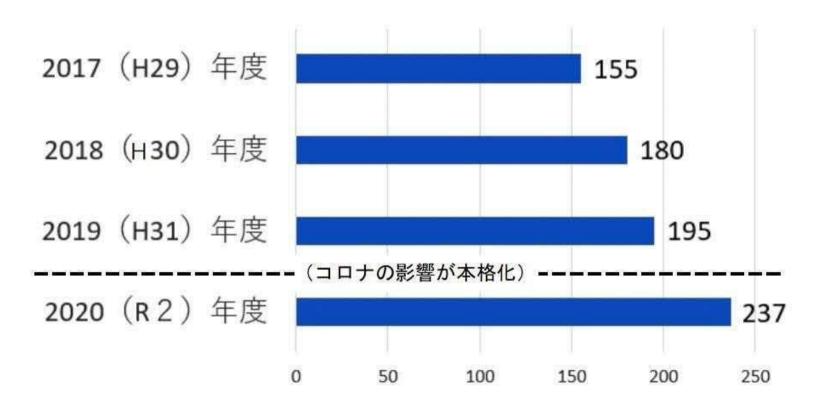
#### 休み明けにコロナ不安を理由に登校しなかった児童・生徒数

	9月1日	11月1日	1月11日
小学校	353	16	101
中学校	42	23	11
合計	395	39	112

#### 区立小学校の不登校児童数の推移



#### 区立中学校の不登校生徒数の推移



#### 登校できない児童・生徒の支援【例】(保護者と相談した上で実施) 3

- ・担任が毎日電話で体調や家庭での過ごし方を聞く。・オンラインによる授業の参加
- ・放課後等に登校時間を設けて個別の指導
- ・保健室や別室での指導
- ・課題(タブレット端末や紙資料)を出して家庭学習

\*2021年11月30日・文教委員会資料より

## 品川区の教育

#### 品川教育ルネサンス

-For The Next Generation-

品川区では、次代を担う子どもたちのために、これまでの教育改革で培った成果を生かしながら、制度の見直しや施策の再構築を図り、新たな「品川教育」を創生する「品川教育ルネサンス -For The Next Generation-」を進めています。

#### 品川教育ルネザンスの 三つの柱

#### 地域とともにある 学校づくり

品川コミュニティ・スクールの実施により、学校の主体性を高め、 地域との協働による特色づくりを 行う学校体制の構築

#### 三校種体制における 学校教育の推進

異なる学校種が存在する中で、学校の 特色や個々の可能性を高める学校教育 の維維

#### 9年間の一貫したカリキュラム

これからの時代を生き抜く児童・生徒を育成 する9年間の一貫したカリキュラムの実現

> 令和3年9月 品川区教育委員会



#### 品川教育の実践

#### 不登校対策

教育総合支援センターでは、不登校に関する相談窓口として、教育相談室、学校支援チー ム (HEARTS)、巡回相談員、適応指導教室等幅広く相談に応じています。



適応指導教室では、様々な理由により不登校の状況にある子どもたちに対して、学校への 復帰を含め社会的に自立できるよう支援を行っています。

#### マイスクール八潮

#### 生活改善·対人関係、社会的自立

- ・週5日/9時~15時
- ·定数30名程度
- 〈スタッフ〉 · 教室長
  - ·5~9年生(五反田), 7~9年生(浜川)
    - ・週1~5日(五反田),
      - 週1~4日(浜川) /9時~12時

・個別学習を基本

・定員1日10名程度

#### 個別の課題解決・学校復帰

- 〈スタッフ〉
- 教室長
- ・指導員
- ・メンタルフレンド ・コーディネーター
- 心理相談員

マイスクール五反田&浜川





学校不適応の初期段階(登校しぶり、欠席し がち、保健室登校等の状態) にある生徒に対し、 国語科、数学科を中心とした課題別学習や、集団 生活に必要なソーシャルスキルトレーニング等を 行う場を提供しています。平成28年に五反田、 平成30年に浜川が開設しました。通室型支援に 加え、在籍校の別室で学習を行うアウトリーチ型 支援も実施しています。

- ・集団活動を中心
- ・3~9年生
- ・指導員
- 心理相談員

区立学校に在籍する不登校児童・生徒を対象

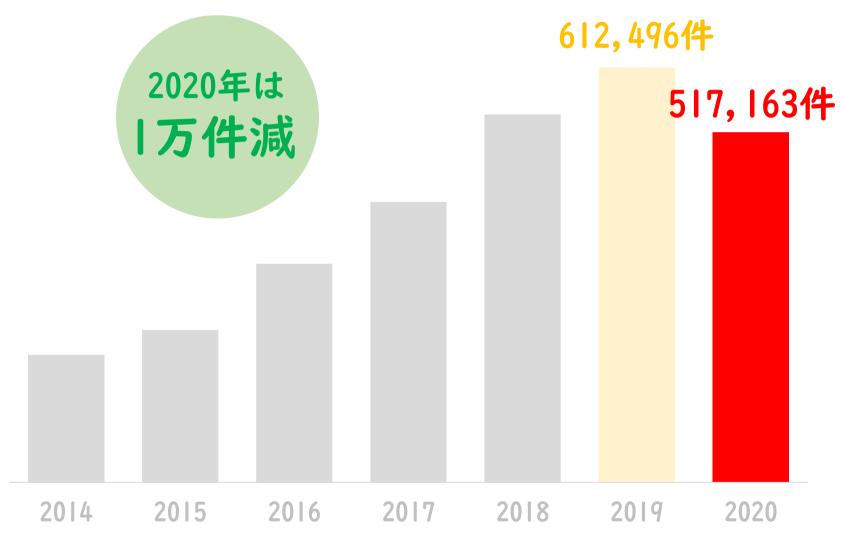
に学校以外の支援の場として、平成9年に開設し ました。子ども一人一人が1日の活動の目標(マ イブラン)を立て、体育や音楽を中心とした教科 学習、校外学習や菜園活動等の体験活動、子ども 同士や指導員、地域等と関わる交流活動など様々 な活動に取り組んでいます。

# コロナ禍のネットいじめ



品川区議会議員 松本ときひろ

## コロナ禍のいじめ件数



出典:文科省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」(2021)

## 増加するネットいじめ



出典:文科省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」(2021)

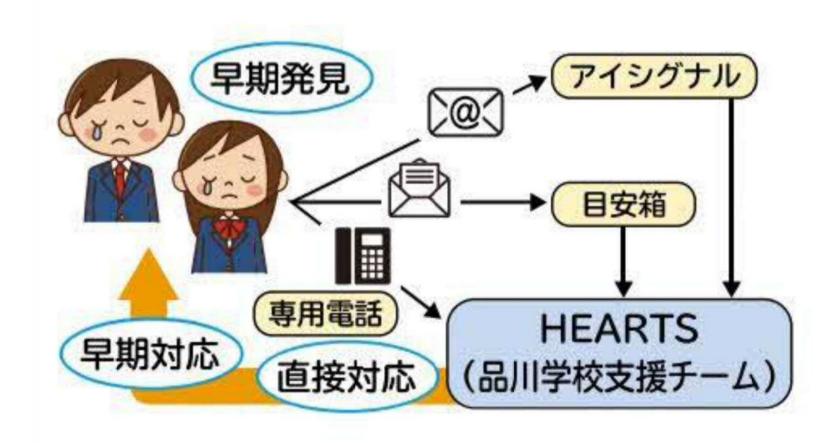
## SNSいじめの特徴

- ・加害者を特定しづらい
- 大人が気づかない場所で進行
- ・いじめの証拠が消されやすい
- ・加害のスピードが速い
- ・被害者の顔が見えず加害者の罪悪感が薄い
- ・24時間、場所関係なく、大量に

## 品川区の対応

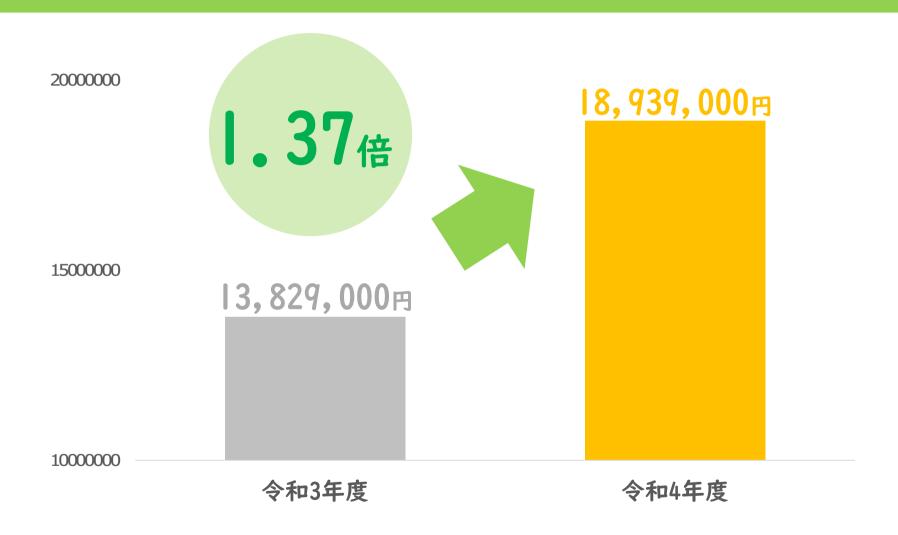
- 生活アンケート
- スクールカウンセラー面談
- 市民科授業
- いじめ防止バッジ
- ・感染者差別、偏見を防ぐための講話
- ・HEARTS (教育心理相談員、社会福祉士、警察 OB等で構成されるチーム) による支援

## 品川区の対応



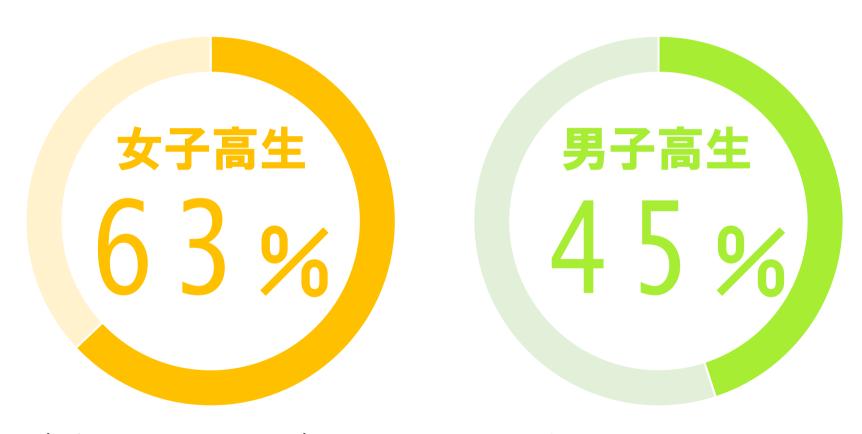
出展:「品川区の教育」(令和3年)

## 品川区のいじめ防止対策費



教育アドバイザー・スクールソーシャルワーカー・教育心理相談員増員

## 複数アカウントの時代



デジタルネイティブ世代は大人の対策の先を行ってしまう

出展LINEリサーチ(令和2年)

保護者、学校、地域等での連携 + 子ども達、若い世代の意見に真摯に向き合う



~コロナ禍における子どもの心のケアーについて~

## コロナ禍での学校行事

品川区議会 議会報告会 文教委員会 吉田 ゆみこ

## 1. 報告の問題意識

子どもたちが楽しみにしている学校行事が、やりにくい お況となった。

### ★区民のみなさんからの心配の声

運動会・修学旅行等は子どもたちには大切な行事。 コロナ禍でもやって欲しい。でも、不安も…。 もし、中止の時には代替案は? 子どもたちの意見は聴いてもらえるの?

# 2.実際に、学校現場ではどのような検討がされて、どのように実施されたのか?

\*学校だよりから見えること

#### 判断は学校単位

- ex.・公共交通機関を利用する遠足などは 中止、または延期を検討。
  - ・移動教室は、宿泊を伴わない都内での代替活動を検討。
  - ・学年を超えて一堂に集まる行事、活動は延期または中止。

## 3. 学校によって工夫された様々な事例

- ex. ▶時期をずらして実施。
  - ▶時間を短縮して実施。
  - ▶移動教室の代替として、宿泊を伴わない 近隣県に行った。
  - ▶ 思い出づくりの「屋形船乗船」 などなど…。

### コロナ禍における子どもたちの心のケア 市民科での取り組み

区立学校における現状

○**コロナ不安**を理由に登校していない児童・生徒

(2021.11.1区教委の臨時調査による)

395人(2021.9.1)→39人(2021.11.1)

1

112人 (6年生が大半)

<小:101人、中:11人> (2022.1.11)

不登校児童・生徒は令和元年度・2年度比較で国や都と同様に<mark>増加傾向であるが、</mark>

出現率は東京都より低い。

令和2年度:児童(1~6)161人・生徒(7~9)237人(計398人)

(不登校:年間30日を超える様々な理由で学校に登校してないこと <病気は除く>)

#### 学校での取り組み事例

- ○「市民科」※の授業での取り組み
- ・教科の中で学年に応じた心のケアを取り上げており、コロナ禍でも、

「ストレス・悩みの解消方法」(5・6・7年生)、

「自分を大切にする」(8・9年生)、

との単元の中で取り上げている。

(※道徳の時間、特別活動(学級活動)、総合的な学習の時間を統合し、

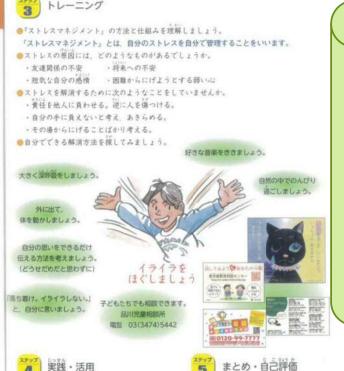
その理念は大切にしつつも、より実学的な内容を盛り込んだ単元で構成する学習)

・外部講師による講演等

NPO法人しながわチャイルドライン※による出前授業を行った学校もある。

(※18歳までのこどもがかけられる専用電話を運営する法人)





●困ったことがあったら、気分を変えたり、友 ●ストレスやなやみを解消できた経験

●生活の中で、自分に合った、ストレスやなや ●自分に合った、ストレスやなやみの

解消方法は見つかりましたか。

#### セルフコントロールの方法

①「暴力」や「ゲームに没頭する」 ことが良い解決方法ではない。②ストレスは自分を成長させるもの。 ストレス反応も理解する。③ストレスマネジメント(上手なストレス回避方法)を知る。④実際に取り組んだ結果を記録⑤自分のタイプを知り、今後の生活

に取り入れていく。



・自分の心と向き合い、ストレスを**適切に解消していくことの大切さ**を理解する。

違や先生に相談したりしていきましょう。

みの解消方法を実践してみましょう。

・自分に合った適切なストレス解消法を見つけて、取り組んでいく。





#### SOSの出し方

- ①自分や回りが辛い気持ちになった 時のことを振り返る。
- ②悩みの解消方法には様々あること や相談することの大切さを認識。
- ③SOSの出し方や受け止め方を身に 着ける(疑似体験を通じて行う)。
- ④辛い気持ちを軽くする行動の実践。 相談機関の一覧等を紹介、配布。
- ⑤実践についての振り返り。



#### ○授業での評価

- ・心身の健康のために「自分を大切にする」ことの意味や、SOSの出し方(相談する こと)についての理解。
- ・自身や友人の悩みを軽くするために何ができるか考え、行動できているか。

# コロナ禍における子どもたちの心のケアについて

私たち大人が子ども達にできること・・・



# 品川区での取り組み

- (1) 児童生徒の実態調査
- (2) 心のケア(各学校の取り組み)
- (3) 登校できない児童・生徒の支援

# はなしを聴く?





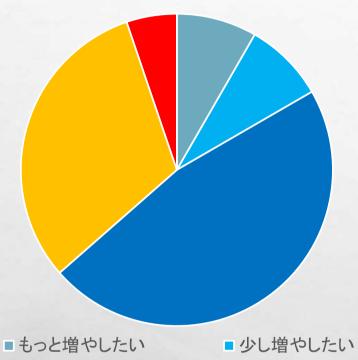
#### 話を聴く心構えとは・・・

- ・ 心配していることを素直に伝える
- コロナ嫌だね、みんなで歌を歌えなくて嫌だね、など・・子どもに答えを誘導させるのではなくストレートに聴いてみる
- こんな方法があるよと解決する前に子どもの体験を共有する
- 心配かけても良いことを伝える
- 相談先を教えておく

#### 大人同士連携のポイント

- 「親に言わないでほしい」と相談されたときは その背景を丁寧に聴く
- 情報共有の後も、子どもに関わることに対して 大人同士で勝手に決めない
- 子どもの様子を伝えるときは、子ども自身にきちんと 許可をとったうえで話をする

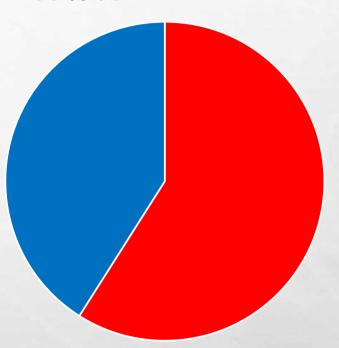
#### 親子で共に過ごす時間



- ■ちょうど良い
- ■もっと減らしたい

- ■少し減らしたい

#### 保護者のメンタル



- ■負担に感じている
- ■負担はあまりない



~コロナ禍における子どもの心のケアーについて~

# 『ヤングケアラー』

# 『ヤングケアラー』ってのできる

### ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族 に代わり、買い物・料 理・掃除・洗濯などの家 事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょ うだいの世話や見守りを している



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない 家族や障がいのある家族 のために通訳をしている



家計を支えるために労働 をして、障がいや病気の ある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族 に対応している



がん・難病・精神疾患な ど慢性的な病気の家族の 看病をしている



障がいや病気のある家族 の身の回りの世話をして いる

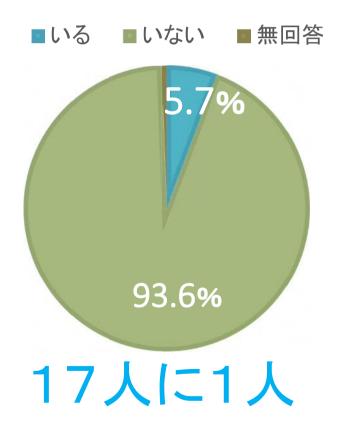


障がいや病気のある家族 の入浴やトイレの介助を している

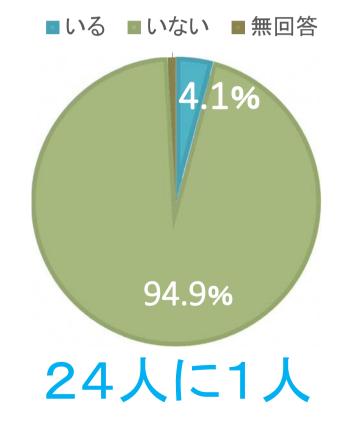
©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga

## 『ヤングケアラー』って身近にいるの?

#### 【中学2年生】



#### 【全日制高校2年生】



## ヤングケアラーが受けることのある影響

#### 【学校生活に集中できなくなる】

遅刻や欠席が多い。宿題を期限内に提出できない。忘れ物が多い。

⇒勉強についていけない。良い成績が取れない

#### 【自分の時間がほとんどなくなっていく】

勉強だけでなく、友達付き合い、部活、趣味などに時間を使えない。 ⇒周囲との付き合いがどんどん少なくなっていく

#### 【感情的にも精神的にも疲れてしまう】

ケアで困窮していても、身近に相談できる相手がほとんどいない。 ⇒授業中寝てしまう。自分の健康や進路は後回し

## 新型コロナウイルスによる影響

収入が不安定に おうち時間増ナ・外部との接触減ン



孤立感を深めている

心理的苦痛や精神的な幸福感が悪化している

## 『ヤングケアラー』が増えている理由

核家族化少子高龄化

コロナによる影響

「手伝い」だと思っている

誰に相談したらいいかわからない etc

# 認知度が低い

# 乱たちにできること

# 認知度を上げる

周囲が気付いてあげる

加談できる体制をつくる